

高美小学校内 TM だより

R8.2.2.NO.28

1月28日、大阪府スクールエンパワーメント推進事業 確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校としての、研究発表会を行いました。前半は1～6年生の授業公開、後半は体育館で全体会がありました。

★1年生 算数「大きいかず」★

新一年生との交流会の準備という形で、目的を明確にしました。材料を数えるという体験を通して、大きいかずについての知識を身に付けていくことができるよう計画し、子どもたちと学習することを確認しながら単元計画を立てました。

★2年生 国語「みきのたからもの」★

子どもたちの初発の感想で出た問いを、子どもたちと一緒に見直ししながら、学習計画を立てました。子どもたちがみつけたはてなから単元を貫く問いを設定し、考えを持ちながら学習を進めることができるようにしました。

★3年生 国語「ありの行列」★

単元のゴールを、新しい単元のスタート結びつけることで、感想を交流する必然性をもたせました。実際にありの飼育にもチャレンジすることで、より子どもたちに学ぶ意欲をもたせることができるようにしています。

★4年生 国語「自分だけの詩集を作ろう」★

子どもたちと一緒に単元の計画を立て、毎時間確認することで見通しをもたせるよう工夫しています。実際の詩集とロイロノート、どちらも使うことで、情報収集・整理がしやすくなるよう工夫しています。

★5年生 国語「言葉でスケッチ」★

表現を工夫する力がついていくよう、本単元に入る前から「言語力パワーアップシート」を作成し、活用しました。本単元では、「参観で行うゲームで高得点を出すために」という目的意識をもたせ、学びに対する意欲を高めました。

★6年生 国語「おすすめパンフレットを作ろう」★

パンフレットをつくる相手を一年生と定め、相手意識をもった表現を意識することができるよう工夫しました。グループごとに計画をたて、毎時の終わりには計画通り進んでいるかを振り返り、調整する時間を設定しました。



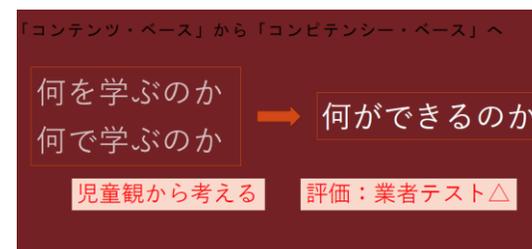
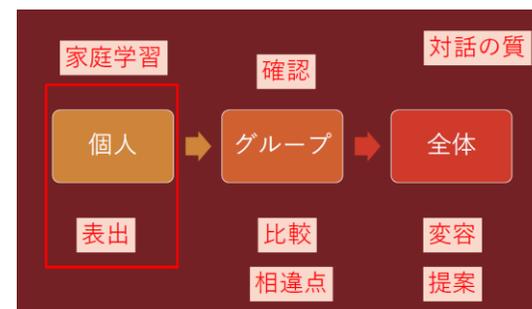
★研究協議会★

参加いただいた先生方と、意見交流を行いました。どの分科会でも、子どもたちと単元の計画をたてることについて話される機会があり、本校の取り組みについてアドバイスをいただいたり、他校でされている実践についてお聞きしたりすることができました。



★全体会★

前半では、本校の研究報告発表を行いました。追って、ホームページにアップロードする予定です。後半には、大阪大谷大学教育学部 今宮信吾教授より、『AI時代に向けた“問い続ける”児童の育成』～自らの学びを未来へつなぐ授業～というテーマでご講演いただきました。AIがどんどん進化しつつある今を生きる子どもたちに、将来、よりよく生きていくために、学校はどんな力をつけていくべきか、改めて考える機会となりました。本校では年間通してご指導いただいた「聴解力」についてはもちろん、対話の質を意識した言語活動や、授業づくりや評価における「コンテンツ・ベース」から「コンピテンシー・ベース」への転換など、どれも非常に興味深く、大きな学びとなる時間でした。



★研究発表会を終えて★

「はてな」から本時のめあてをたてる、というところからスタートした研究でした。授業研を経て、本時のめあてだけでなく、単元計画をたてるというところまで広がり、今では、教科、学年を問わず、様々な学習において、同様の取り組みが取り入れられるようになりました。AIだけでなく、様々なものが進化し、情報があふれる未来を生きていく子どもたちに必要な力は、自分でゴールを決め、情報や道を選び、それらが正しいかどうかを振り返りながら調整していく力なのではないかと、様々な先生方のお話や、今宮先生のご講演を受けて感じました。すぐには成果が現れにくいかもしれませんが、続けていくことで、きっと子どもたちに自ら学びに向かう力、学びをつかみとる力がついていくのではと思っています。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。